

# しあわせ

第 69 号 2010・3



第61回結核予防全国大会  
世界の結核と国際協力コーナーの様子

## 平成 20 年度 特定保健指導実施状況まとまる



財団法人 山形県結核成人病予防協会

# 平成20年度特定保健指導 実施状況まとめ

平成20年4月から特定健康診査とともにスタートした特定保健指導ですが、この度実施状況がまとまりましたのでご報告致します。

## ① 特定健康診査受診数

これは当協会が特定保健指導を受託しております実施主体の特定健康診査受診者数をまとめました。

国保とは市町村の国民健康保険に加入されている方、他保とはそれ以外の保険に加入されている方で主に事業所の方の数です。  
国保・他保合計で41,035人が受診されました。

## ② 特定保健指導階層化状況

国保、他保どちらにおいても、動機付け支援および積極的支援の割合は男性の方が多く、特に積極的支援に関しては、国保で女性の約4倍、他保では11倍となっています。  
合計割合では、男性が22.2%、女性が9.5%、計16.1%となりました。

## ③ 特定保健指導利用者数

これは、階層化において特定保健指導対象者になった方のうち、初回支援を受けていた数と数をあげております。

## ④ 途中終了者数

こちらは、途中で保健指導を中断された方の数をまとめたものです。

国保・他保合わせた数となっております。  
動機付け支援では利用者1,480人中31人の中断で中断率2.1%でした。中断理由としては、保険の変更による資格喪失等がありました。

積極的支援は利用者844人中161人の中断で中断率19.1%でした。中断理由は動機付け支援同様の資格喪失や、仕事や家庭内の事情、病気や怪我、音信不通などがありました。  
合計では、2,324人中199人の中断で中断率8.3%と思いのほか低い結果となりました。

## ⑤ 支援終了後評価

こちらのグラフは、支援を受けていただいた方が、支援を受ける前に比べ、腹囲・体重の数値がどのように変化したか、食生活や身体活動など生活習慣がどう変わったか表したものです。  
(※腹囲と体重変化の評価方法については、国が明確に示していないため、支援前に比べ0.1以上減ってれば減少とし、0.1以上増えれば増加と評価)

腹囲変化・体重変化とも、動機付け・積極的支援、男女ともに減少評価が70~80%台と高い割合で改善がみられました。

また、積極的支援の方が動機付け支援より改善がみられます。

食生活変化については動機付け・積極的支援、男女ともに改善評価が80~90%と特に高く、悪化についてはほとんど見られませんでした。

身体活動変化については、これは運動習慣や日常生活の変化を見たものです。食生活変化に比べ、改善評価は50%前後にとどまりました。

食生活と身体活動の「変化なし」ですが、中には、支援前にすでに改善している方が引き続き6ヶ月間継続して努力を続けている方も含まれますので、実質の改善率はもう少し上がると考えられます。

食事の習慣は変えられても、身体活動量を増やすのは困難のようです。  
また、最終評価の時期により評価が下がる場合もありました。

たとえば、年末年始後の体重・腹囲・食生活の評価や、冬場の運動評価などがあげられます。

行動変容ステージですが、これは、支援を受けていただく方が初回面接時と最終評価時、どのように生活習慣に関しての意識や行動の変化があるか評価するものです。  
ステージの分類は、国で定義している①~⑤

となります。

たとえば、初回面接時で生活習慣改善にまったく興味が無いようであれば①の無関心期となり、最終評価時で初回面接時に定めた目標を達成していれば⑤の維持期と判断されます。行動変容ステージに関しても、ステージ上昇が80~90%と特に高い割合でステージの改善が

みられました。

こうしてみると、特定保健指導を受けて頂いたことにより、生活習慣が大きく改善されていることがわかります。これは、生活習慣病の予防や、健康の維持増進に繋がってまいりますので、今後も特定健康診査・特定保健指導を積極的に活用して頂きたいと思っております。

## ① 特定健康診査受診数(特定保健指導受託実施主体のみ計上)

	国保(市町村)			他保			計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
総計(人)	11,587	13,745	25,332	9,901	5,802	15,703	21,488	19,547	41,035

## ② 特定保健指導階層化状況

	動機付け支援			積極的支援			計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
国保(人)	1,368	1,081	2,449	806	223	1,029	2,174	1,304	3,478
割合(%)	11.8	7.9	9.7	7.0	1.6	4.1	18.8	9.5	13.7
他保(人)	921	396	1,317	1,670	150	1,820	2,591	546	3,137
割合(%)	9.3	6.8	8.4	16.9	2.6	11.6	26.2	9.4	20.0
計(人)	2,289	1,477	3,766	2,476	373	2,849	4,765	1,850	6,615
割合(%)	10.7	7.6	9.2	11.5	1.9	6.9	22.2	9.5	16.1

(参考) 全国の積極+動機 該当率 23.1 9.9 15.2

\*第1539号 保健衛生ニュース 厚生労働省統計より

## ③ 特定保健指導利用者数

	動機付け支援			積極的支援			計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
国保(人)	581	492	1,073	293	91	384	874	583	1,457
割合(%)	42.5	45.5	43.8	36.4	40.8	37.3	40.2	44.7	41.9
他保(人)	300	107	407	418	42	460	718	149	867
割合(%)	32.6	27.0	30.9	25.0	28.0	25.3	27.7	27.3	27.6
計(人)	881	599	1,480	711	133	844	1,592	732	2,324
割合(%)	38.5	40.6	39.3	28.7	35.7	29.6	33.4	39.6	35.1

(参考) 全国の利用率 23.0 19.9

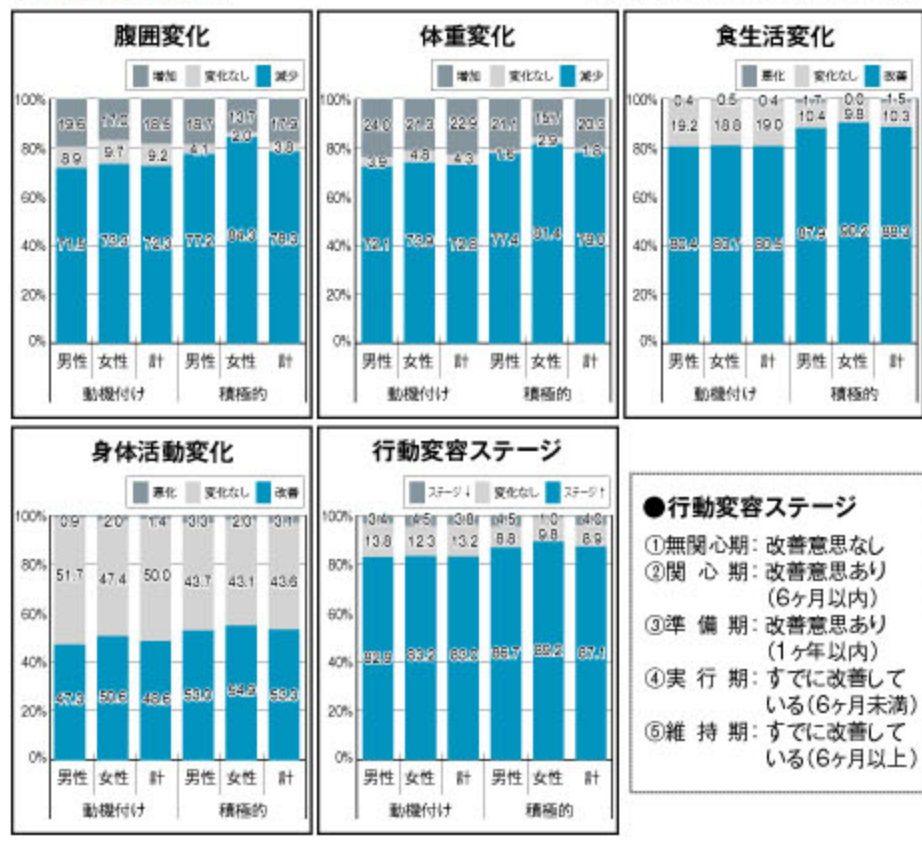
\*第1539号 保健衛生ニュース 厚生労働省統計より

## ④ 途中終了者数

	動機付け支援			積極的支援			計		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
総合(人)	14	17	31	131	30	161	145	47	192
割合(%)	1.6	2.8	2.1	18.4	22.6	19.1	9.1	6.4	8.3

## ⑤ 支援終了後評価

※測定値の変化=±0.1以上の変化





# 鳥取県で 結核予防全国大会 盛大に開催



3月18日(木)・19日(金)の両日に、鳥取県のとりぎん文化会館において、第61回結核予防全国大会が開催され、当協会からも職員が出席して参りました。

この開催を通して国民の結核に対する関心を高めると同時に、全国の関係者の共通の理解を深め、結核予防活動の具体的な進め方を示すとともに、討議された重要な事項については大会の名のもとに政府や国会等関係方面にその実施方策について要望するなど、結核関係者にとっては最も重要で大きな大会となっております。

18日は、約800人の参加を得て「研鑽集会」が行われました。「どうなる!? これからの結核医療」とのテーマの下、各方面の専門家が、患者発見・治療・患者支援等それぞれの立場から、将来の結核対策に向けての方針や諸問題についての議論が深められました。

19日は、約900人の参加を得て本大会が行われ、感染症についての特別講演等が行われました。結核は過去の病気と思われがちですが、現在も重要な感染症であることに変わりありません。当協会でも尚一層結核予防事業の推進を図ってまいります。



## きらやか友の会様・米沢市衛生組合連合会様から寄付金~ありがとうございます~

●2月4日(木) 東京第一ホテル米沢(米沢市)において、米沢市衛生組合連合会様から結核・生活習慣病予防のためとして寄付金(1,974,000円)をいただきました。

米沢市衛生組合連合会では、主体となる環境衛生事業の他に、健康教室の開催や、各種検診の受診勧奨等、生活習慣病予防事業も積極的に取り組まれています。

いただいた浄財は、がん征圧運動や健康増進の啓発活動に有効に活用させていただきます。

●12月10日(木) 山形きらやか銀行本店(山形市)において、きらやか友の会様から、がん・生活習慣病予防のためにと寄付金(300,000円)をいただきました。

きらやか友の会は、同銀行の関連会社である寿商事が取り扱っているがん保険の加入者の出資金などで運営されており、がんなど生活習慣病予防を目的とした様々な事業を展開されており、当協会への寄付金もその一環で、今年で25回目となりました。

●2月4日(木) 東京第一ホテル米沢(米沢市)において、米沢市衛生組合連合会様から結核・生活習慣病予防のためとして寄付金(1,974,000円)をいただきました。

# 子宮がん検診の 判定方法がかわります

子宮がん検診の細胞診の判定方法として、従来から使用されていた日母(パニコロウ)分類にかわる世界標準分類として新しくベセスダシステムが採用されました。

### ★ベセスダシステムとは

米国を中心に世界中で採用している標準評価、推定診断を目指した記述式用語を用いた子宮頸部細胞診報告様式であり、先進的な考え方は細胞診学会領域にも影響を及ぼしています。諸外国では、すでに日母分類からベセスダシステムへ移行しており、海外の学会や論文等においてもベセスダシステムによる表記が基準となっております。

### ★新分類の特徴は

- ① 検診の精度管理の向上を目指し、単なるクラス分類ではなく、病変を適切に健康管理者や受診者に伝える用語にする。
- ② 標準の適正・不適正を評価して不良標準をなくす。
- ③ 診断困難な異型細胞に対して新しいクライテリア(診断基準)を設ける。
- ④ 子宮頸がん検診の発癌におけるヒトパピロームウイルス(HPV)関与のエビデンスを取り入れる。

山形県でも平成22年度から運用がスタートします。当協会では既に平成21年度から従来分類と新分類を併記して新分類の周知を図っておりますが、この方式が周知されるにつれ新分類に完全移行する予定です。

### ●日母分類

細胞診結果(クラス分類)	細胞診所見	組織型病変	指導区分
I	異型細胞をみない	性状上皮	次回(1年または2年後)の定期検診
II	異型細胞はあるが悪性細胞をみない	良性異型上皮 炎症性異常上皮	6ヶ月1回の定期検診
IIIa	悪性を疑わせる細胞はみるが 確認できない	良性異型上皮 軽度異形成 中等度異形成	要精密検査
IIIb		高度異形成上皮内癌	
IIIc		腺異型	
IV	悪性、極めて濃厚な異型細胞	高度異形成 上皮内癌 微小浸潤癌	要精密検査
V	悪性と診断可能な異型細胞	微小浸潤癌 浸潤癌 再発癌	

### ●ベセスダシステム

結果	略語	推定される病理診断	従来のクラス分類	英語表記	運用
1) 陰性	NILM	非腫瘍性所見炎症	I, II	Negative for intraepithelial lesion or malignancy	異常なし: 定期検査
2) 意義不明な異型扁平上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い	II-IIIa	Atypical squamous cells of undetermined significance (ASC-US)	要精密検査: ①HPV検査による判定が望ましい 陰性: 1年後に再検診、HPV併用検査 陽性: コルポ、生検 ②HPV検査非実行 6か月以内細胞診検査
3) HSILを除外できない異型扁平上皮細胞	ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い	IIIa, IIIb	Atypical squamous cells cannot exclude HSIL (ASC-H)	要精密検査: コルポ、生検
4) 軽度扁平上皮内病変	LSIL	HPV感染 軽度異形成	IIIa	Low grade squamous intraepithelial lesion	
5) 高度扁平上皮内病変	HSIL	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌	IIIa, IIIb, IV	High grade squamous intraepithelial lesion	要精密検査: コルポ、生検、頸管および内臓細胞診または組織診
6) 扁平上皮癌	SCC	扁平上皮癌	V	Squamous cell carcinoma	
7) 異型腺細胞	AGC	腺異型または腺癌疑い	III	Atypical glandular cells	要精密検査: コルポ、生検、頸管および内臓細胞診または組織診
8) 上皮内腺癌	AIS	上皮内腺癌	VI	Adenocarcinoma in situ	
9) 腺癌	Adenocarcinoma	腺癌	V	Adenocarcinoma	要精密検査: 病変検索
10) その他の悪性腫瘍	Other malign	その他の悪性腫瘍	V	Other malignant neoplasms	

1) 陰性は腫瘍性細胞所見を認めない場合であり、HPV感染以外による炎症所見や修復細胞所見もここに含まれる。  
\*ASC-USの判定の場合、HPV検査が併用可能になれば、HPV検査による判定が望ましい。  
HPV検査陰性の場合には1年後に細胞診とHPV併用検査を行い、HPV検査陽性の場合にはコルポ・生検を行う。

# 広報媒体物のご紹介

～ぜひぜひ活用下さい～

当協会では、健康教育用媒体物の無償貸し出しを行っております。この度、新しい展示パネルとDVDが仲間入り致しました。その他、模型・パネル・ビデオ等がありますので、健康まつりや健康教育等では是非ご利用ください。お問い合わせは、事務局総務係または各検診センター庶務係までお願い致します。



★DVD  
DVDで脱メタボ！  
(全4巻)

- ① メタボと生活習慣
- ② 病メタボの原因を考
- ③ えるメタボの改善策を
- ④ 探るメタボ対策「続ける



## ★パネル

《運動シリーズ》  
・からだを動かそう  
・早わかり 生活のなかに運動を！  
・エネルギーと運動  
・習慣づけよう、手軽な運動  
・運動と食事で太りにくいからだづくり

《腰痛肩こりシリーズ》  
・腰痛の原因と予防  
・床に寝て行なう腰痛予防体操  
・椅子を利用する腰痛予防体操  
・立って行なう腰痛予防体操  
・肩こりの原因と予防  
・肩こり予防体操

## シリーズ 「普段からできる健康管理」

栄養編～外食を上手に利用しよう～

景気の悪化に伴い、家で料理をする、惣菜を利用して家で食べる、昼は弁当、という人が増加しています。とはいえ、外食を利用する機会が多く、仕事の日はいつも外食という人も見受けられます。そうすると、懐具合も気になるので、バランスやカロリーばかり考えてはられないという人もいます。

では、外食をするならどんなものなのか、ちょっと考えてみましょう。外食は味付けが濃く塩分過剰になりやすい、ボリューム重視で揚げ物などカロリーの高いものが多い、野菜が少なめでバランスがとれていない、というような傾向があります。でも、この傾向を知っていれば、上手に利用することも可能です。

昼食で多いのがラーメンや蕎麦などの麺類。麺類は金額的にも時間的にも手軽ですが、野菜不足、塩分過剰の代表です。山形県は、蕎麦も中華麺も全国で毎年上位に入る消費量の多い地域です。ラーメンを食べるなら五目中華など野菜が入ったものを選ぶ、つゆ・スープは味見だけにして残す、など工夫すれば塩分は半分以下に抑えられます。また、ラーメンのスープには悪玉コレステロールの原因にもなる豚脂などが含

まれカロリーの高いものもあるので注意が必要です。

蕎麦には天ぷら！という人は、油のとりすぎが気になります。天ぷらは衣がたっぷり油を吸い、カロリーが高いのはご存知だと思います。蕎麦なら、天ぷら蕎麦より、かも南蛮、山菜なめこ蕎麦などを選ぶと、たんぱく質や食物繊維が摂れます。

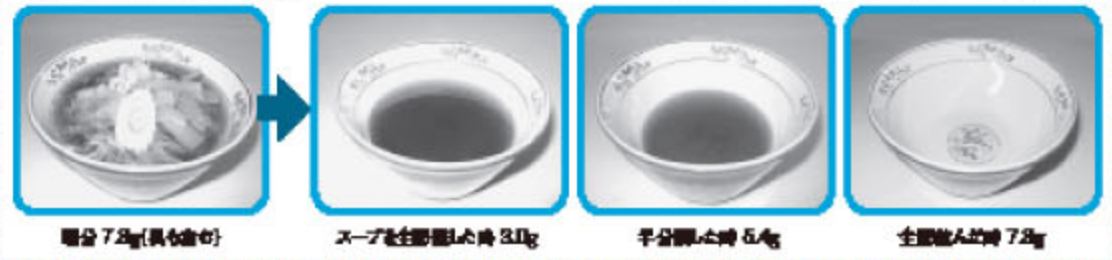
麺類や丼ものなどの単品より、お勧めしたいのが定食です。定食でも、メインは揚げ物、付け合せはマヨネーズを使ったサラダにナポリタン、となるとカロリーオーバーになりますが、メインは揚げ物ではないものを選び、野菜などの小鉢がついているものだとバランスもカロリーも◎です。

定食によってはご飯が多いのが気になりますが、最近は「ご飯を残すのがもったいないので、小盛をお願いします」と伝えると対応してくれるお店は以外に多いもの。環境と身体のエコのためにも「小盛り」「いつもの2/3くらい」とお願いしてみましよう！

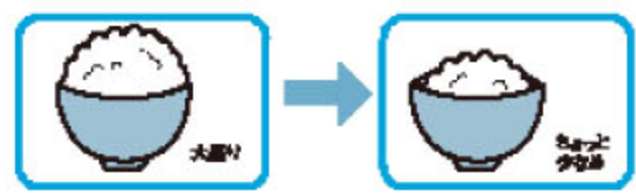
外食でも、少しの工夫で身体に優しい食事になります。注文する前に、食べ終わる前に、ちょっと身体のことを考えて見ましよう！

(管理栄養士)

### ラーメンの塩分は？



### ご飯の量は？



## 検診センターネットワーク

どちらの検診センターでもお受けいただけます。  
お近くの検診センターをご利用下さい。



田代検診センター



TEL:0234-22-1888 FAX:0234-22-1799

黒上検診センター



TEL:0234-7733-498  
施設は移転済み



山形検診センター・新庄検診センター・赤松町



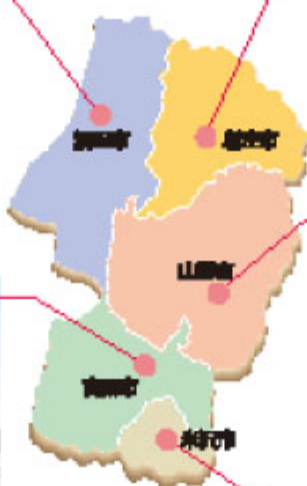
TEL:023-242-2911 FAX:023-242-2724



新庄検診センター



TEL:0236-42-2601 FAX:0236-42-2672



新庄検診センター



TEL:0236-21-2811 FAX:0236-21-2812



「しあわせ」第69号

発行所 (財)山形県結核成人病予防協会

発行人 有海 躬行

郵便番号 990-9581

住所 山形市蔵王成沢字向久保田 2220

TEL 023(688)8333